

令和5年度「所沢市 PPA 方式による第2学校給食センター太陽光発電設備導入事業」において、所沢市初となる PPA 方式により太陽光発電設備を設置するにあたり、実績の豊富な民間事業者の知見を活用するため、公募型プロポーザル方式により提案を募集しました。プロポーザルの結果、最優秀提案者に選定された者の提案概要を公表します。

**最優秀提案者：**所沢市 B & T 共同企業体

(代表構成員：武州ガス株式会社 構成員：東京ガス株式会社)

#### ◆提案内容の概要

**設置場所：**所沢市第2学校給食センター（所沢市中富 1862-1）

**設置面積：**屋根面積 約 1,375 m<sup>2</sup>

**事業期間：**20 年間

**設置設備：**太陽光発電設備 181.44kW、定置型蓄電池 15kWh

**CO<sub>2</sub>削減見込量：**20 年間で 1,070,946kg-co<sub>2</sub>（平均 53,547kg-co<sub>2</sub>/年）

※CO<sub>2</sub>排出係数はところざわ未来電力 R3 実績(0.289kg-co<sub>2</sub>/kWh)を使用

**発電電力の活用：**自家消費が中心、余剰電力は地域新電力（ところざわ未来電力）に売電し、域内で循環させる

**その他ポイント：**

##### ①非常時・停電時に活用可能なシステム

非常時や停電時に加え、夜間等太陽光パネルが発電していない時間帯でも活用できるよう電力供給 15kWh のハイブリッド型蓄電池を導入。満充電であれば約 6 時間（15kWh÷2.45kW）に渡り特定負荷（設置場所の選定次第で柔軟な対応が可能）を使用することが可能。

##### ②事業期間における維持管理・メンテナンス等の計画、実施体制

本事業は 20 年の長期に渡るため日常的に遠隔監視を実施するとともに、独自の毎年 2 回の定期点検を実施し、万全な維持管理、メンテナンス体制を構築。

##### ③故障、緊急時の対応体制

地元事業者であることを活かし、平時の対応、緊急時・故障時の対応等を迅速に実施。365 日 24 時間対応での対応を可能としている。